

第1954回埼玉県教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和5年4月26日(水) 午前10時開会
午前11時26分終了
- 2 場 所 埼玉県教育局教育委員会室
- 3 出席者 高田教育長、戸所教育長職務代理者、坂東委員、小林委員、首藤委員、櫻井委員、古垣教育総務部長、青木県立学校部長、石井市町村支援部長、井澤財務課長、杉田高校教育指導課長、高田義務教育指導課長、岡島小中学校人事課長、高校教育指導課桑原指導主事
案浦書記長、小島書記、岩城書記、太田書記
- 4 会議の主宰者 高田教育長
- 5 会 議
- (1) 前回議事録の承認
- 全出席委員異議なく本件記載どおり承認
 - 高田教育長が、首藤委員を議事録の署名者に指名した。
- (2) 報告事項
- ア 県議会令和5年2月定例会概要について
井澤財務課長(提出理由、会期、本会議の質問、文教委員会、人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会、予算特別委員会について説明)
- イ 令和5年度埼玉県公立高等学校入学者選抜実施状況について
杉田高校教育指導課長(提出理由、全日制の課程及び定時制の課程及び学力検査の結果について説明)
- 小林委員 令和4年度入学者選抜の学校選択問題の数学について、42.6点と若干低い数値がでており、今年度については50.5点で点数が上がっていま

す。そのあたりでいろいろな対応をされたと思うのですが、この点についてどのように認識されているか教えてください。

杉田高校教育指導課長 昨年度の数学については、思考力・判断力・表現力が必要な問題を入れたところ、受検者が答えられずに解答率が低くなった問題がありました。以前、教育委員会でも報告をさせていただいたところですが、御指摘を踏まえ、受検者になるべく最後まで取り組めるような問題となるよう工夫をしてきたところです。その結果として、数値の結果の改善が見られたと考えております。

戸所教育長職務代理者 今の小林委員からの質問に対する御回答は、学校選択問題についてのことでよろしいですね。学校選択問題ではないところでも、昨年度は数学が低い数値がでていたのですが、これも同じような理由からでしょうか。

杉田高校教育指導課長 そのとおりです。

高田教育長 学力検査の英語について、昨年度は52.6点、今年度は45.8点となっていますが、これについての分析結果について教えてください。

杉田高校教育指導課長 英語問題の作成について、昨年度と同程度の難易度を目指しておりましたが、結果としてこのような数値となりました。詳細については、これから分析をしていきますが、原因として考えられるのは、知識・技能を活用して、思考力・判断力・表現力を問う問題とすることを意識し作成したところで、その結果、難易度の上方につながったのではないかと考えております。例えば、リスニングの問題では、今までは聞いていれば答えられる問題もありましたが、今回は、聞いて、その上で少し考えるような問題も取り入れたところ、そういった問題の得点率が低かったことがありました。こういったことを踏まえて、今後、受検者がしっかりと取り組める良問の作成に取り組んでまいります。

高田教育長 引き続き受検者がしっかりと最後まで取り組むことができるような良問を検討し、作成に取り組んでいただくようお願いいたします。

ウ 「埼玉県 校長及び教員としての資質向上に関する指標」の改定について

杉田高校教育指導課長（提出理由、指標の概要、改定の概要、改定の詳細、指標の活用、今後の予定について説明）

首藤委員 2点質問します。これは教員の育成指標であると思いますが、そうすると採用前の段階である養成大学との連携も必要となると思いますが、そのあたりはどのようになっているのでしょうか。もう1点は、4段階の各ステージが記載されている図がありますが、その最終段階が校長となっています。ただ、管理職にはならず、教員で退職を迎える方もいると思います。教育委員会としては、管理職を目指してほしい、なってほしいという気持ちがあるのかもしれませんが、教員からすると、管理職にならなければ最終段階までいかないという誤解が生じるのではないかと思います。それについてはどのようにお考えになっていますか。

杉田高校教育指導課長 まず養成大学との連携についてです。この指標を作成するに当たっては、外部有識者がいる協議会を設け、御議論いただいていたところですが、その中には、埼玉大学の教育学部長、女子栄養大学の先生などにも御協力をいただいております。御意見をいただきました。そういった方々の御意見も踏まえまして、指標の作成を行いました。次に、2つ目の御質問についてですが、委員お話のとおり、教員の専門性を生かし、ずっと生徒と関わっていくという教諭のままでいる者も多くおります。そのため、今の委員の御指摘も踏まえまして、指標の運用をしていく中で誤解を生まないよう注意していきたいと思っております。

坂東委員 2点質問します。指標についてはだいぶ改正がなされていることは理解ができました。これについては、自分自身でチェックしていただくものなんでしょうか。また、研修はどういった新しい内容を入れて、指標を活用していくことをお考えなのか、教えてください。

杉田高校教育指導課長 この指標と併せて、教員がどういった研修を受けたかを記録することになっています。この研修記録は、教員個人と管理職とが見られる形にしていますので、例えば、年度当初と年度末に、管理職と教員が面談を

する場面があるのですが、この研修記録を活用して、教員の強みや弱みについて話し合う中で、今後どのような研修を受けていったら良いのか、もちろん研修は教員が自発的・自主的に受けていくものですが、このような対話を通じて研修の奨励を行っていきます。また、教育センターでの研修もあり、そちらでもこの指標に基づいて研修を担っていく予定となっています。事前に指標をチェックし、研修が終わりましたら、指標の達成状況をチェックしていくこととなります。2点目の御質問についてですが、現在、この指標を基に研修体系の見直しを行っているところです。どの研修が指標の中のどこに当てはまるのか、また、弱い部分については今後さらに充実をしていきたいと考えています。

坂東委員 組織マネジメントと学校運営については、別々の研修でないと対応が難しいと思いますが、そこは分けて考えていらっしゃるのでしょうか。

杉田高校教育指導課長 学校内での研修も奨励しており、指標を目安とし、学校独自の校内での研修もあわせて行っていければと考えています。

戸所教育長職務代理者 この改定には賛成しています。今回の改定については、教員の協働的な学びというのがポイントだと思います。その点については、先程、研修の中で考えて行っていきたいとの説明がありましたが、まず現場での協働的な学びができるための仕組みを検討していただきたいと思います。具体的にそれがどのような形になるのかはお任せしたいと思いますが、集合研修の形で行う事も良いのですが、日々現場で課題や悩み、問題が生じ、それに対して皆で共有し協働しての学びができればと思いますので、御検討いただければと思います。

高田教育長 指標のステージについてですが、第1から第4までありますが、これはそれぞれ採用何年目のものとなるのか、詳しく教えてください。

高校教育指導課桑原指導主事 第1ステージは初任者から4年目まで、第2ステージは5年目から9年目まで、第3ステージは10年目から19年目まで、第4ステージは20年目以降と設定しています。そして、各年次研修に、その

ステージに相当するプログラムを組んで実施しています。

高田教育長 教育公務員特例法には、教員は絶えず研究と修養に努めなければならないと定められており、研修を受けることは職務ですので、しっかりと取り組んでいただきたいと思います。

エ 令和5年度埼玉県教科用図書選定審議会の答申（第1次）について

高田義務教育指導課長（提出理由及び答申事項について説明）

(3) 次回委員会の開催予定について

5月11日（木）午前10時

<非公開会議結果>

第55号議案 教職員の懲戒処分について

非違行為を行った北部地区の公立小学校の男性教諭（30歳）に対して、免職する懲戒処分等を決定しました。

第56号議案 教職員の懲戒処分について

非違行為を行った西部地区の公立特別支援学校の男性教諭（25歳）に対して、免職する懲戒処分等を決定しました。

第57号議案 教職員の懲戒処分について

非違行為を行った西部地区の公立小学校の男性教頭（58歳）に対して、免職する懲戒処分等を決定しました。